



平成20年5月29日

各位

東京都千代田区平河町一丁目4番12号
株式会社ベルパーク
代表取締役社長 西川 猛
(JASDAQコード番号: 9441)
問合せ先
執行役員管理本部長 石川 洋
TEL 03-3288-5211

子会社株式の一部譲渡契約の締結並びにそれに伴う特別利益の発生及び
平成20年12月期中間期・通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成20年4月30日付「株式会社ジャパンプロスタッフ株式の株式会社ベルパークから株式会社ピーアンドピーへの一部譲渡に関する基本合意のお知らせ」で発表しましたとおり、平成20年5月29日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社ジャパンプロスタッフ（以下「ジャパンプロスタッフ」という）の発行済株式の50%を株式会社ピーアンドピー（以下「ピーアンドピー」という）に譲渡することを決議し、株式譲渡契約を締結いたしました。これに伴い、譲渡金額等が確定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本件株式譲渡に伴い、特別利益を計上することとなり、平成20年12月期中間期・通期（連結・個別）の業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 子会社株式の一部譲渡

(1) 株式譲渡の理由

当社は、人材派遣及び人材紹介事業を主な事業とするジャパンプロスタッフを連結子会社に有しておりますが、携帯電話ショップ等への派遣の需要に見合う人材供給ニーズに対応できない等の課題がありました。

一方、ピーアンドピーは、携帯電話ショップ等への派遣事業の拡大を検討しておりました。

このような状況の下、ピーアンドピーがジャパンプロスタッフを子会社化し、ピーアンドピーの有する人材サービスのノウハウをもって運営することにより、ジャパンプロスタッフの業容を拡大することができ、当社、ピーアンドピー両社にメリットがあるものと判断し、今般、当社とピーアンドピーとの間でジャパンプロスタッフ株式50%を譲渡する旨の譲渡契約を締結いたしました。

なお、本件株式譲渡によりジャパンプロスタッフはピーアンドピーの連結子会社、当社の持分法適用の関連会社となりますが、当社はソフトバンクショップの運営ノウハウ等を活かして人材派遣事業拡大のための支援をする等、ピーアンドピーとの協力体制を築き、ジャパンプロスタッフの発展に寄与してまいります。

(2) 株式の譲渡先

①商号	株式会社ピーアンドピー
②代表者	代表取締役社長 山室 正之
③本店所在地	東京都新宿区新宿 3 丁目 27 番 4 号新宿御幸ビル
④設立年月日	昭和 62 年 1 月 26 日
⑤主な事業の内容	販売支援サービス、ストア支援サービス、人材サービスその他アウトソーシングサービス
⑥当社との関係	資本関係及び人的関係はありません。なお、平成 19 年 12 月期にピーアンドピーの子会社である株式会社ピーアンドピー・インベックスに棚卸業務の一部を委託しております。

(3) 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

①異動前の所有株式数	4,000 株 (所有割合 100%) (議決権の数 4,000 個)
②譲渡株式数	2,000 株 (議決権の数 2,000 個)
③異動後の所有株式数	2,000 株 (所有割合 50%) (議決権の数 2,000 個)
④譲渡価額	225 百万円

(4) 日程

平成 20 年 5 月 29 日	取締役会決議、株式譲渡契約締結
平成 20 年 6 月 1 日	株券引渡し期日

(5) 今後の見通し

本件株式譲渡に伴い、特別利益が連結業績で約 170 百万円、個別業績で約 190 百万円、それぞれ発生いたします。また、同社を当連結会計年度下半期より連結の範囲から除外し、持分法適用の関連会社といたしますので、平成 20 年 2 月 14 日付「平成 19 年 12 月期 決算短信」において発表しました連結及び個別業績予想は中間期、通期ともに後記のとおり修正いたします。

2. 特別利益の発生

本件株式譲渡に伴い、連結では関係会社株式売却益約 170 百万円を特別利益に計上いたします。また、個別では関係会社株式売却益約 155 百万円及び投資損失引当金戻入約 35 百万円の合計約 190 百万円を特別利益に計上いたします。

3. 業績予想の修正

(1) 平成 20 年 12 月期 連結業績予想の修正等

① 中間期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	17,900	460	460	230
今回修正 (B)	17,900	460	460	340
増減額 (B-A)	—	—	—	110
増減率	—	—	—	47.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	15,041	1,262	1,262	616

② 修正理由

本件株式譲渡に伴い、特別利益が約 170 百万円発生する見込みであります。これに税金を考慮した結果、中間純利益が約 110 百万円増加する見込みであります。

③ 通期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 12 月 31 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	37,100	1,000	1,000	500
今回修正 (B)	35,800	980	990	600
増減額 (B-A)	△1,300	△20	△10	100
増減率	△3.5%	△2.0%	△1.0%	20.0%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	31,453	1,684	1,685	840

④ 修正理由

本件株式譲渡に伴い、特別利益が約 170 百万円発生いたします。また、同社を当連結会計年度下半期より連結の範囲から除外し、持分法適用の関連会社とするため、売上高は 1,300 百万円、営業利益は 20 百万円、経常利益は 10 百万円それぞれ減少いたします。これらに、税金を考慮した結果、当期純利益は 100 百万円増加する見込みであります。

(2) 平成 20 年 12 月期 個別業績予想の修正等

① 中間期（平成 20 年 1 月 1 日～平成 20 年 6 月 30 日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	16,700	460	460	230
今回修正 (B)	16,700	460	460	340
増減額 (B-A)	—	—	—	110
増減率	—	—	—	47.8%
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	14,223	1,246	1,248	600

②修正理由

上記(1)②の連結業績予想(中間期)の修正と同様の理由により、特別利益が約190百万円発生する見込みであります。これに税金を考慮した結果、中間純利益が約110百万円増加する見込みであります。

③通期(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	34,600	980	980	490
今回修正(B)	34,600	980	980	600
増減額(B-A)	—	—	—	110
増減率	—	—	—	22.4%
(ご参考)前期実績 (平成19年12月 期)	29,618	1,647	1,650	808

④修正理由

上記(1)②の連結業績予想(中間期)の修正と同様の理由により、特別利益が約190百万円発生する見込みであります。これに税金を考慮した結果、当期純利益が約110百万円増加する見込みであります。

※ 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上